

自然と共生するスマートエコアイランド種子島シンポジウム
～ 持続的な社会へ向け、産学公で広がる連携 ～

1. 趣旨

平成 26 年 8 月から最先端研究に関わる大学や企業等と行政・地域が連携し課題の解決を図り、持続的な社会モデルを構築しようとする取り組みが種子島で始まりました。この2年半余りで、エネルギーや健康医療を中心に様々な分野において実社会へ応用する研究が行われ、広がりを見せています。

本シンポジウムでは、大学教員による研究報告及び種子島高校生による発表などを行い、これまでの活動を振り返りながら地域住民とともに解決すべき課題について学び合います。そして、将来ビジョンを共有し、地域が一体となって意識と相互の関わりを深めていくことを目的として開催します。

2. 日時:平成29年3月11日(土) 13時00分(開場12:30)

3. 場所:ホテルニュー種子島 2階 コンベンションホール

4. プログラム

【第1部】基調講演・展望講演

13:00 開会

13:00～ 開会の挨拶 西之表市副市長 坂元 茂昭

13:10～ 基調講演

「新しい産学公民の連携にむけて」

東京大学総括プロジェクト機構「プラチナ社会」総括寄附講座代表

大学院工学系研究科 副研究科長/化学システム工学専攻教授 大久保 達也

13:30～ 研究活動報告

①「地域のシナリオ分析と大学の役割:「プラチナ社会」総括寄附講座を例に」

東京大学総括プロジェクト機構「プラチナ社会」総括寄附講座

特任准教授 菊池 康紀

②「熱中症アラーム開発の取り組み - 2020 年に向けて -」

京都大学 大学院情報学研究科 助教 藤原 幸一

③「健康寿命を延ばすためにわたしたちがすべきこと」

筑波大学 大学院グローバル教育院 教授 矢田 幸博

15:00～ 東京大学体験活動プログラム報告

東京大学 学生支援課、学生

【第2部】

15:30～ 種子島高校活動発表

「種子島高校における対話型ワークショップとこれまでの取組について」

種子島高校生

16:30～ 講評・総括

内閣府地方創生推進室 参事官 澤田 史朗

16:50～ 閉会の挨拶

17:00 閉会

5. 場内展示 会場での先端研究展示等
種子島高校 WS、熱中症アラーム(デバイス)、認知症(検査機器)、ツーリズム、
バイオディーゼル、プラチナ大賞優秀賞、プラチナシティ認定証等
6. その他 主催:西之表市
後援:鹿児島県、中種子町、南種子町、種子島地域産業推進協議会
東京大学総括プロジェクト機構「プラチナ社会」総括寄附講座、
公益社団法人化学工学会
7. 問い合わせ先 西之表市役所 経済観光課 商工政策係 担当 岩下 栄一